

度一部の人によりて高閣に束ね去られんとしたる宗教も、今は普く人生には必ず缺くべからざる者なることを深く確認せらるゝに至れり。然り宗教は實に人性が特有せる最深最奥の要求にして、又精神的生活の最後の慰撫者、將た督勵者たり。然も奈何せん其の理極めて幽玄なるを以て、其の眞意を捕捉すること甚だ難く、往々、人をして無限の煩悶苦惱を懷かしむるあるを。矧んや戰時、人心宗教を求むること極めて急なる今日に於ておや。惟ふに宗教や其の教義に百ののみならず、優劣高下、種類萬差、隨ひて自他の爲に寧ろ不幸を來たすが如き者も亦甚だ數からず。然り而して其等各宗教の價値を判定し、眞相を發揮し、以ておのづから人をして最高圓滿の宗教に至ら令むる者は、實に宗教學的智識其者を指きて又他に求むべからざるなり。

勿論、宗教に關する科學哲學の盛なる今日、高等専門の學校に在りては、往々其れが講座を設け、男子は多少其の恩恵に浴しつゝありと雖も、彼の其の資性尤も宗教心に富める處の女子に至りては獨り未だ全く聽講の自由を有せず。將た目下、日夕公開せられつゝある處の夫の宗教上の幾多の講演も、多くは智的方面の疑問を全然蔑視せる者が、然らずんば男女全席の講筵にして。前者は教育ある者に向ひて不満足の感を懷かしめ、後者は女子をして出席聽講するに躊躇せ令むる者あり。是れ洵に女子、就中教育ある婦人に於て尤も遺憾とする處にあらずや。

是れ吾人が身の不肖を省みず、茲に斯會を立て、以て特に女子に限りて、公に宗教の學術的講演を開かんとする所以なり。

莫くは江湖の諸姉、吾人の在る處を諱として、奮ひて來聽わらんことを。

## 紹介

### ▲をさな繪端書

可愛い子供等の遊び盛りを書いた美しい繪端書六枚一組で十五銭、繪も印刷も紙質も見事に出来たり。子供好きの方は買つて御覽。

(大阪市島町天眞堂發行)

### ▲みどり 一ノ一

一面には女性の修養改良に資し、一面には大に女性の詩趣を發達せしめんとの目的を有する愛すべき雑誌にして伊勢國稻生村敬愛、婦人會より、本年一月發行せるもの誌中、愛すべく誦すべき短歌、美文多し、將來健全の發達を望むるものなり (一冊五銭)

